

## SDGs を基盤にした藤原中学校の新 WAVE 学習(未来いなべ科)

これまで藤原中学校では、地域に学び、自らの生き方を考えるため、WAVE 学習(未来いなべ科)を行ってきた。3年間の様々な活動の柱は、自ら課題を見つけて主体的に考え、判断する「意思(Will)」、学びにつながる行動や考え方を身につける「行動(Action)」、視野を広げ、新しい考え方や生き方を育てる「View(視野)」、学びの楽しさを知る「Enjoy(楽しむ)」である。これらが1つに合わさり、大きな波「WAVE」となって子ども達の生き方に影響を与え、「一人ひとりが輝く藤中」の実現に向かうことが本学習の目的であった。

現在、「持続可能な開発目標(SDGs)」が国際目標として定められており、これからの未来を生きる子どもたちにとって欠かすことのできない考え方や行動の指標となることが予測される。よって藤原中学校では、現在の WAVE 学習(未来いなべ科)に SDGs の視点を取り入れ、藤原から世界に向けて活躍する子どもの育成を目指し、3年間の学びを進路実現につなげていく。

以下に WAVE 学習(未来いなべ科)の概要と SDGs の視点を記載する。

### 中学校3年間で学ぶこと

#### 中学1年生

- ・藤原調べ学習 …… 地域に親しむ、地域を知る、地域に学ぶ
- ・職業調べ・訪問学習 …… 職業を知る、身近な職業人から学ぶ

#### 中学2年生

- ・職場体験学習 …… 働く意義と職業観を学ぶ、社会的なマナーを学ぶ
- ・名古屋分散学習 …… 体験から考える、学んだことを伝える、仲間と計画し規律を守る
- ・わたしの未来史 …… 自己を見つめる、自分に合った職業を考える、人生設計を試みる

#### 中学3年生

- ・東京班別分散学習(修学旅行) …… 現代社会を学ぶ、様々な分野で働く人から学ぶ。自らの視野を広げ、未来の社会を構成する一員であることを自覚する。
- ・WAVE 論文 …… 3年間の学びの中で自分の生き方を考える、進路実現に向けて仲間と語り合う

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## WAVE 学習(未来いなペ科)と SDGs の視点

### 藤原調べ学習



藤原町は自然が豊富な地域である。本校周辺には藤原岳や員弁川があり、藤原文化センターでは藤原に生息する動物や昆虫、自生する植物、化石や岩石標本等を紹介している。この学習ではそれぞれが藤原の歴史や自然を調べ、発表することで、郷土の誇りを再確認すると共に、藤原の自然を身近なものとして捉え、自然の大切さやこれからも持続的に守っていく方法を考える。

### 職業調べ・訪問学習

#### 職場体験学習・わたしの未来史



「働くとは何か」について、色々な職業を調べたり、地元の企業等を訪問したり、職業人からその技術を学ぶことで、仕事の意義ややりがいを仲間と共に学ぶ。さらに社会福祉や賃金の話にもふれ、労働について様々な角度から考える。働きがいについて話し合い、世界の労働と比較したりすることで、将来は社会の一員となることを自覚させていく。さらに地元の企業を訪問させていただくことで、その最先端技術や地元の特色を生かした働き方があることを学ぶ。特に藤原には農業公園があり、梅などの特産品があるので、それらの収穫や加工等の体験を通じ、持続可能な農業について考える機会とする。また、職人から技術や心意気を、実際にものづくりを通じて体験し、生涯を通じて働くために必要なものは何かを学ぶ。また職場体験学習では、藤原周辺の事業所と協力し、実際にその仕事を体験させていただくことで、職業を身近なものとして感じ取り、「働くとは何か」を深める経験をする。その中には人種・性別によらず、様々な人が仕事をしていること、自分の仕事に責任をもつこと、仕事に働きがいや生きがいを見出すこと等、働くことが社会の基盤をつくる大切な要素の1つであることを知る。

以上のような経験を通して、10年後、20年後はどのような職業に就いていきたいか、その時の日本や世界はどうあってほしいかを仲間と語り合い、それぞれの望む未来に向けて今から何ができるかを考える。

### 名古屋分散学習、東京班別分散学習(修学旅行)、

#### WAVE 論文



身近な自然や職業について学んだ経験を基盤とし、視野を世界規模に拡大し、藤原から世界に活躍できる人材の育成を目指す。地球環境を科学・経済・福祉など様々な角度から考えるために、多種多様な企業や施設を訪問し、学んだことを仲間と共有する。郷土である藤原を守り続けるために、自分には何ができるのか、どう生きていくのかを深く考え、WAVE 論文に綴ることで、3年間の学びを、自らの進路実現に活かす。

#### <2019年度 名古屋分散学習、東京班別分散学習(修学旅行) 訪問先一覧>

- ・名古屋分散学習……アサヒビール、名大減災館、港防災センター、名古屋市科学館、でんきの科学館、名古屋市美術館、名古屋城、裁判所、名古屋地方気象台、産業技術記念館
- ・東京班別分散学習(修学旅行)……東京都水の科学館、発泡スチロール再資源化協会、東証アローズ、パナソニックセンターリスピーア、クロネコヤマト羽田クロノゲート、朝日新聞東京本社、外務省、KADOKAWA、東京国立博物館、第五福竜丸展示館、アルミ缶リサイクル協会、JAL、警視庁、最高検察庁企画調査課、気象庁、農林水産省、韓国大使館、江戸東京博物館、日本ユニセフ協会、JICA

(株)DENSO 大安製作所訪問、いなべ市農業公園作業体験



名古屋班別分散訪問学習、発表会



職場体験学習



東京修学旅行 班別分散学習、生き方を考える HR(WAVE 最終章)



WAVE 学習の焦点化～これまでの学びを SDGS の視点から整理

WAVE 学習の発展～未来の担い手として SDGS の視点から欠かすことのできない

考え方を身につけ、自分の行動の指標を立てる～

## WAVE学習

Will (意志):自ら課題を見つけ、主体的に考え、判断する。  
Action(行動):学びにつながる行動・考え方を身につける。  
View (視野):視野を広げ、新しい考えや生き方を育てる。  
Enjoy(楽しむ):学びの楽しさを知る。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標の指標 17の目標と179のターゲット  
人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標



## 新WAVE学習

取り組み①SDGS の視点からの WAVE 学習

取り組み②未来の担い手として SDGS の取り組みから欠かすことのできない考え方を身につけ、自分の行動の指標を立てる。